

令和3年度取組状況

ものづくり工学科 情報通信工学コース 准教授 鈴木 達夫

取組状況	
教育	コロナ禍の遠隔授業では、書画カメラを用いたオンデマンド授業を実施した。授業の準備には膨大な時間が必要とされたが、手書きで授業を進めるため、パワーポイントに音声を付加する方法よりも、思考の過程を示すことができるため、対面授業と比べて遜色のない高い教育的効果を上げることができた。定期試験の成績が振るわなかった学生には追試を行うなど、一所懸命にフォローアップを行った。ゼミナールや卒業研究の指導も、きちんと実施することができた。
研究	何年間も続けてきた光触媒の探索において、エネルギー革命を引き起こすかもしれない、高効率で安定した光触媒を理論計算によって発見した。夏季休業中に集中的に研究に取り組み、論文にまとめ上げることができた。学術雑誌に投稿したが、査読が続いており、未だに掲載に至らない。 高解像度デジタル動画処理回路の設計手法については、卒業研究生と一緒に研究を進めることができた。
社会貢献	コロナ禍のため、実施時期を後ろにずらして、11月にOPC講座『不思議な暴れん坊モーターを作ろう』を実施した。応募倍率も高く、実施後のアンケート結果も良かったため、本校の魅力をうまく伝えることができたと思う。 東京都公立大学法人研究者ガイドに教員シーズ情報を提供した。